

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査で、国語については、「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける」「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」という問題で全国平均を大きく上回る正答率でした。前年度より研究テーマ実践教科として国語科を設定し授業実践を行っています。説明文の学習では「筆者の主張を支える説得性について読む」ことを中心に据え単元計画を作成し、学習活動に取り組んでいます。目的に応じて必要な情報を見付けたり筆者の論の進め方について考えたりしたことを友達と共有し、学習のまとめや振り返りの中で自分の考えを再考しながら自分なりの深い考えが生み出していけるような学習活動に継続して取り組んできた成果が出てきたと考えます。今後も主体的で対話的な学びを通して、自分の考えが広がったり深まったりしていくよう授業づくりに全教科で努めていきます。

質問紙調査の結果から「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、「している」と回答した児童は41.5%と昨年度の岡山市学力アセスの調査と比較し、11.5ポイント上昇していました。これは家庭学習の手引きを作成するとともに、家庭学習の目的や意図を児童や保護者へ説明する取組を続けてきたことが、結果に反映されたものと思われます。

#### 課題と対応

国語では「文の中における修飾と被修飾の関係を捉えること」において正答率が低く課題が見られました。そこで「修飾語と被修飾語の関係」を含む言語事項に関する学習を繰り返し行う機会を増やします。算数では「集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができること」において、正答率が低く課題が見られました。問題をよく読み、題意を捉えた上で、どのデータを集めればよいのかを考え、選択できるようにしていきます。どの教科においても既習事項を振り返る場面を意図的に設定し、授業の中でこれまでの学習内容を活用できるように計画するとともに、朝学習や家庭学習を利用し、学習内容の定着を図っていきたくと考えます。

質問紙調査の結果からは、メディアに関する項目で「平日、1時間以上ゲームやスマートフォン等をする」と回答した児童が全国平均と比べて多いことが分かりました。また「平日、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（雑誌や漫画は除く）」という質問に対し、「30分以上読書をする」と回答した児童が全国平均より少ないことが分かりました。元気アップ週間等のメディアコントロールで生まれた時間を読書や家族と触れ合う活動にも使えるように呼びかけ、児童の意識を高めていきたくと考えています。学校でもChromebookを活用した学習に取り組んでいますが、情報を収集する際にインターネットに偏るのではなく、学校図書館を活用した授業づくりも進めていきます。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

全国学力・学習状況調査の結果から、自分で計画を立て、毎日1時間以上勉強している児童の割合が全国平均と比べて高いことから、家庭学習の習慣がしっかりと身に付いている児童が多いことが分かりました。また将来の夢や目標をもち、その実現に向かって、難しいことにも失敗を恐れず挑戦しようとする前向きな気持ちで、学校生活を送っている児童も多くいます。今後も、児童が意欲をもち、楽しみを見出しながら学習や活動に取り組んでいけるように支援、指導していきたくと考えています。「今、住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問では、肯定的な回答が全国平均を上回っていました。日頃から地域の方が見守りや声かけをしてくださっていることや、地域と保護者がつながりをもって子どもたちを支えてくださっていることの成果だと思えます。これからも子どもたちが安心してよりよく成長していけますように、ご家庭と地域の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことができる。
	社会	工場の仕事について、安全性を保つための生産者の取組を考え、表現することができる。
	算数	道のりを様々な単位を使って表すことができる。
	理科	こん虫の育て方で、アゲハの成長の順番を理解している。
	学習状況	授業の最後に、学習を振り返る活動をよく行っている。
第5学年	国語	漢字の間違いや文の終わりの書き方に気を付けて、指定された時数制限内にまとめて書くことができる。
	社会	ゴミの処理の仕方の工夫や西大寺会陽、岡山県の様子について理解している。
	算数	3けた÷2けた=2けたの計算ができる。
	理科	気温の変化と植物の成長の関係をグラフから読み取ることができる。
	学習状況	学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強している割合が高い。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	段落相互の関係に着目しながら叙述を基に問題を提示する文を捉えることに課題がある。	国語は段落相互の関係に着目しながら叙述を基に問題を提示する文を捉えること、社会は資料から情報を読み取ること、算数は4桁の整数の大小について理解すること、理科は実験結果を基に体積と重さの関係を推測することに課題がある。 今後の授業を通して、国語では説明文の学習の際、段落相互の関係に着目しながら文章の構造や内容を把握していくように指導する。算数では既習内容の復習に継続して取り組み、応用問題にも自力解決していけるようにしていく。社会では地図や資料などを注意深く読み取り、思考判断していく学習に丁寧に取り組むようにする。理科では実験の結果から分かったことを整理し、それを使って課題解決していくように指導する。 学習状況については、1学期より授業でクロームブックを効果的に使って学習する場面を増やし、ICT活用能力を育てていくようにする。
	社会	岡山市の様子について地図から情報を読み取ること課題がある。	
	算数	4桁の整数の大小について理解することに課題がある。	
	理科	実験の結果を基に、体積と重さの関係を推測することに課題がある。	
	学習状況	授業でコンピュータなどのICTを使用していないことに課題がある。	
第5学年	国語	読み手に分かりやすい筆者の説明の工夫を考えることに課題がある。	国語は読み手に分かりやすい筆者の説明の工夫を考えること、社会は既習事項を関連付けて考え表現すること、算数はきまりを使って計算すること、理科は習ったことの知識・理解が問われる問題を解くことに課題がある。 今後の授業を通して、国語では説明文の学習の際、筆者の論の進め方や説得力の高め方について考えをもつことができるようにしていく。算数では既習内容の復習に継続して取り組み、既習事項を使って課題解決できるようにしていく。社会、理科では当該学年だけではなく、これまでの学年の既習内容の復習に継続的に取り組むようにする。 学習状況については、元気アップ週間の取組を継続し、時間を意識して過ごすことができる生活習慣が定着できるようにする。
	社会	自然災害からくらしを守ることの「自助」について理解することに課題がある。	
	算数	きまりを使って計算することに課題がある。	
	理科	水の温度の低い部分は下へ動いていくことを理解することに課題がある。	
	学習状況	ふだん（月～金曜日）、1日あたりのゲームやインターネット（勉強を除く）をする時間に課題がある。	

【保護者・学区の方へのお願い】

子どもたちには良い家庭学習の習慣が育っています。この習慣がさらに定着していくように子どもたちの学習の様子を見守っていただきたいです。メディア（ゲームやインターネット）に接する時間については、課題が見られました。メディアの使用について、長時間の使用にならないように、けじめをつけることができるように、引き続き声かけをお願いします。年3回の「元気アップ週間」の取組も活用していただきますよう、お願いします。